

ギャンブル等依存症に関する現状等について

第3回 特定複合観光施設（IR）に関する有識者懇談会

平成30年10月17日

北海道保健福祉部

1 北海道における現状 ①ギャンブル等依存症に関する主な支援機関

- ・ 行政機関 保健所、精神保健福祉センターを中心とした相談体制の構築
- ・ 医療機関 専門医療病院(1カ所)のほかギャンブル依存症への対応が可能な医療機関が6カ所
- ・ 回復施設 札幌市で4法人が運営(共同生活施設、グループホーム、就労継続支援施設等)
- ・ 自助グループ 3団体が活動(23会場)

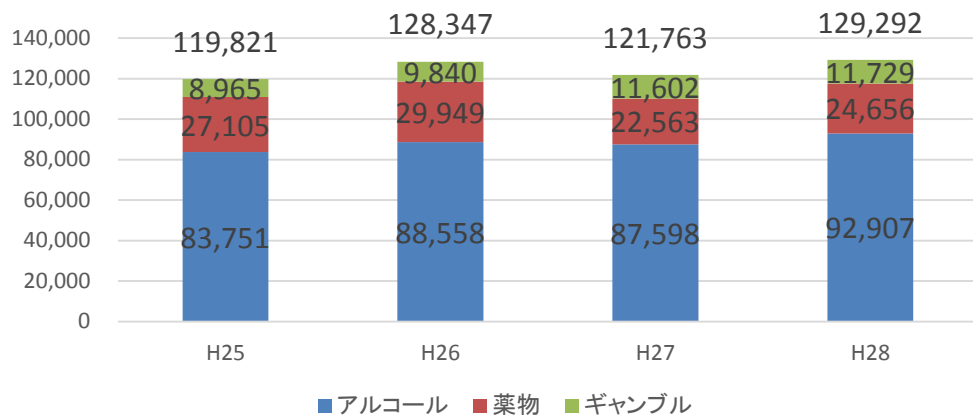
区 分		施設数等	備 考	
行政機関	北海道庁	精神保健福祉センター	1	相談対応 (来所、電話、メール)
		保健所	26	
	札幌市	精神保健福祉センター	1	
		保健所	1	
	旭川市	保健所	1	
	函館市	保健所	1	
	小樽市	保健所	1	
医療機関	専門医療機関		1	札幌市
	ギャンブル依存層への対応が可能な医療機関		6	札幌市、小樽市、音更町
回復施設	札幌マック等		4	札幌市
自助グループ	ギャマノン等3団体		23会場	札幌市、函館市、旭川市、苫小牧市など23会場

1 北海道における現状 ② 行政機関における相談件数の推移

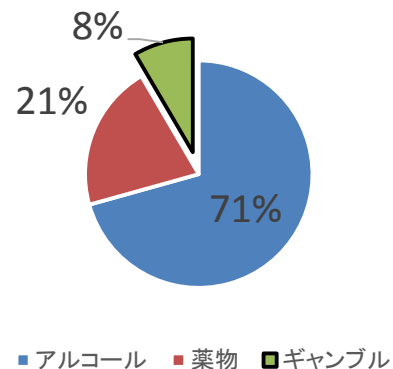
【行政機関(保健所、精神保健福祉センター、市町村)における相談件数】

- ・全国的には相談件数は横ばい。アルコールの占める割合が高い。
- ・北海道においても同様の傾向が見られるが、ギャンブルに関する相談割合が高いのが特徴。

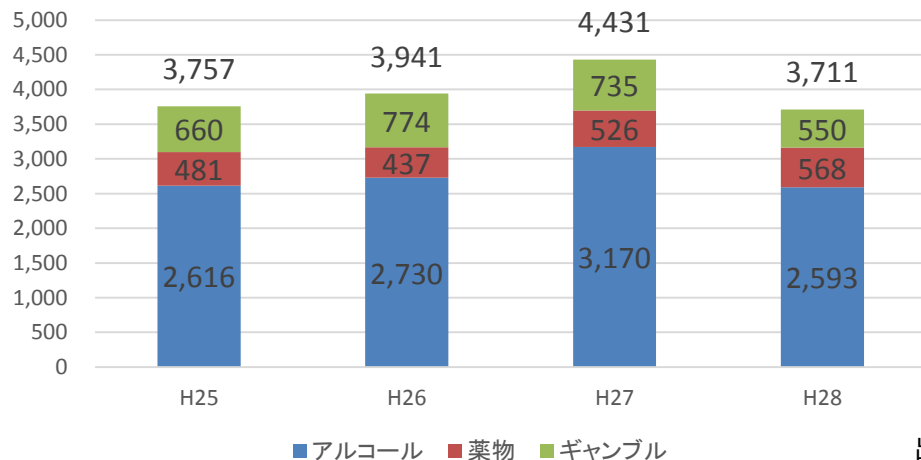
全国 相談件数推移



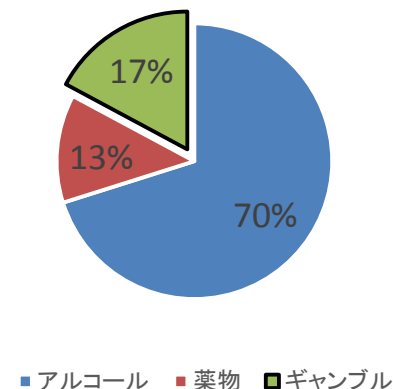
全国 相談件数構成割合(4年間累計)



北海道 相談件数の推移



北海道 相談件数構成割合(4年間累計)

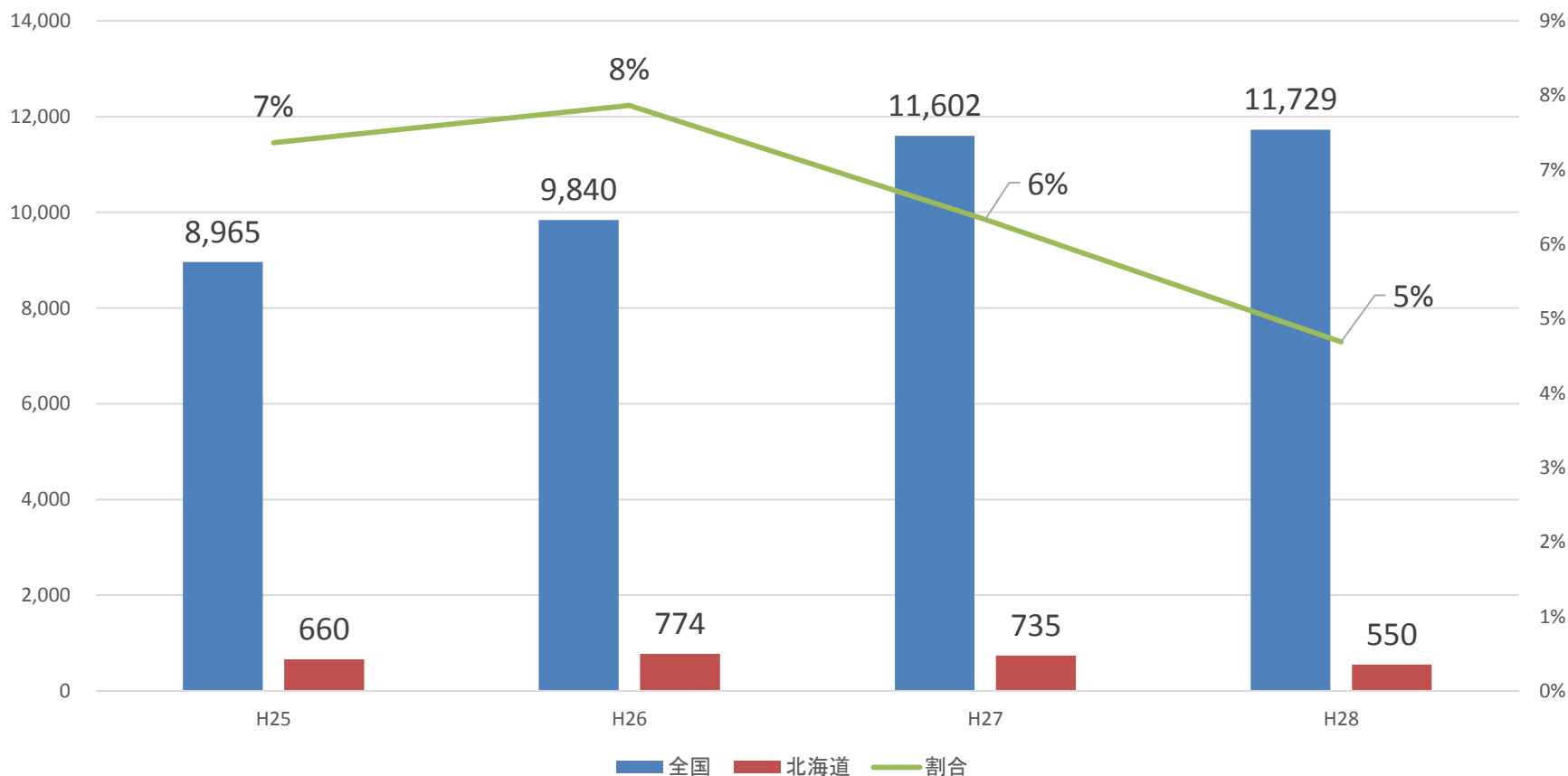


出典：地域保健・健康増進事業報告、衛生行政報告例をもとに道が作成
相談件数：来所+電話+メールによる延べ相談

【ギャンブルに関する相談①】

- ・全国的には増加しているが、北海道では横ばい傾向
- ・全国に占める北海道の割合は5～8%で推移

行政機関における相談実績の推移 全国・北海道（ギャンブル）



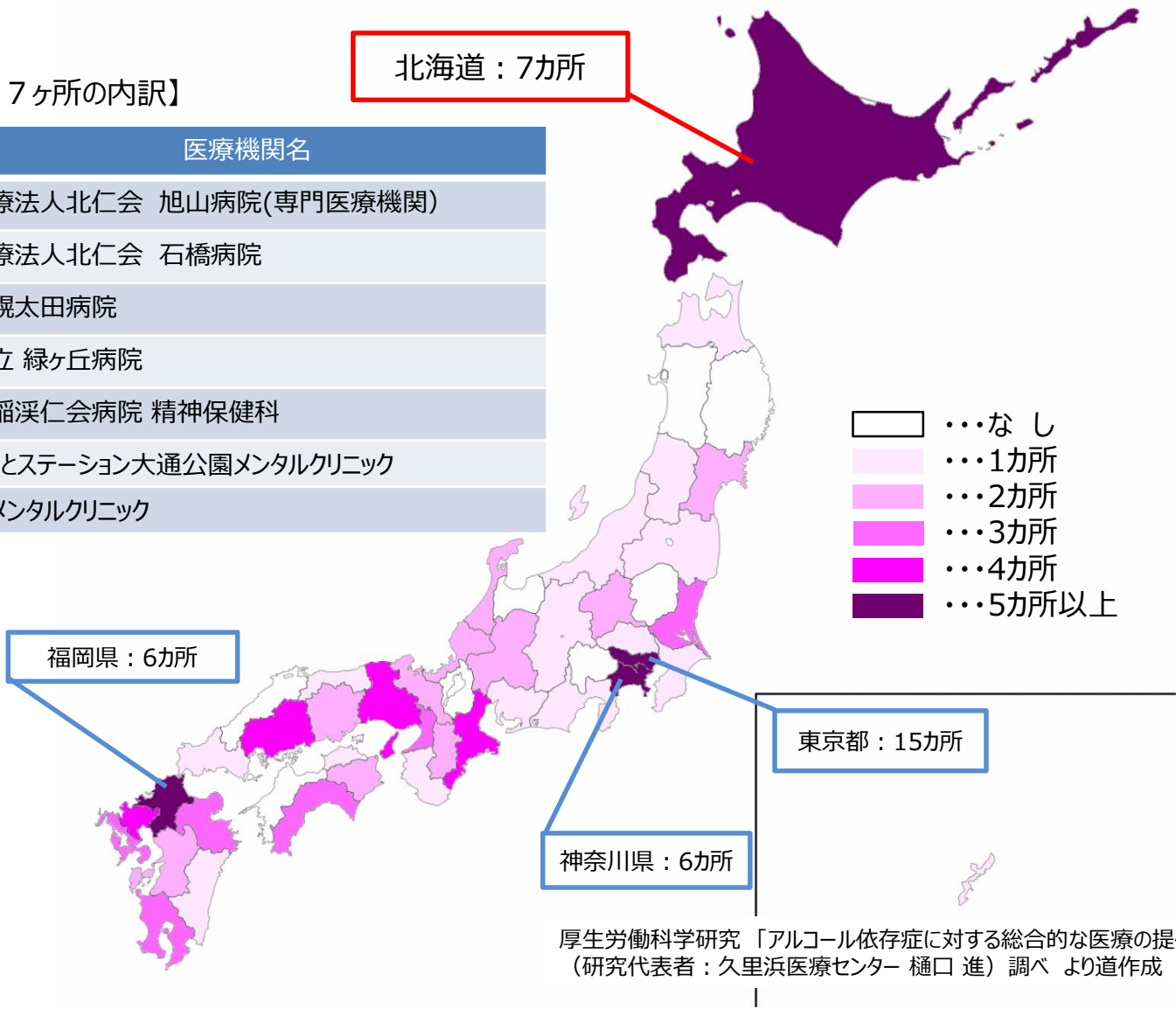
出典：地域保健・健康増進事業報告、衛生行政報告例をもとに道が作成
相談件数：来所＋電話＋メールによる延べ相談

1 北海道における現状 ③ その他の支援機関

◆ ギャンブル等依存症に対応できる医療機関（H29.8時点）

【参考：北海道 7ヶ所の内訳】

所在地	医療機関名
札幌市	医療法人北仁会 旭山病院(専門医療機関)
小樽市	医療法人北仁会 石橋病院
札幌市	札幌太田病院
音更町	道立 緑ヶ丘病院
札幌市	手稲溪仁会病院 精神保健科
札幌市	ほっとステーション大通公園メンタルクリニック
札幌市	幹メンタルクリニック

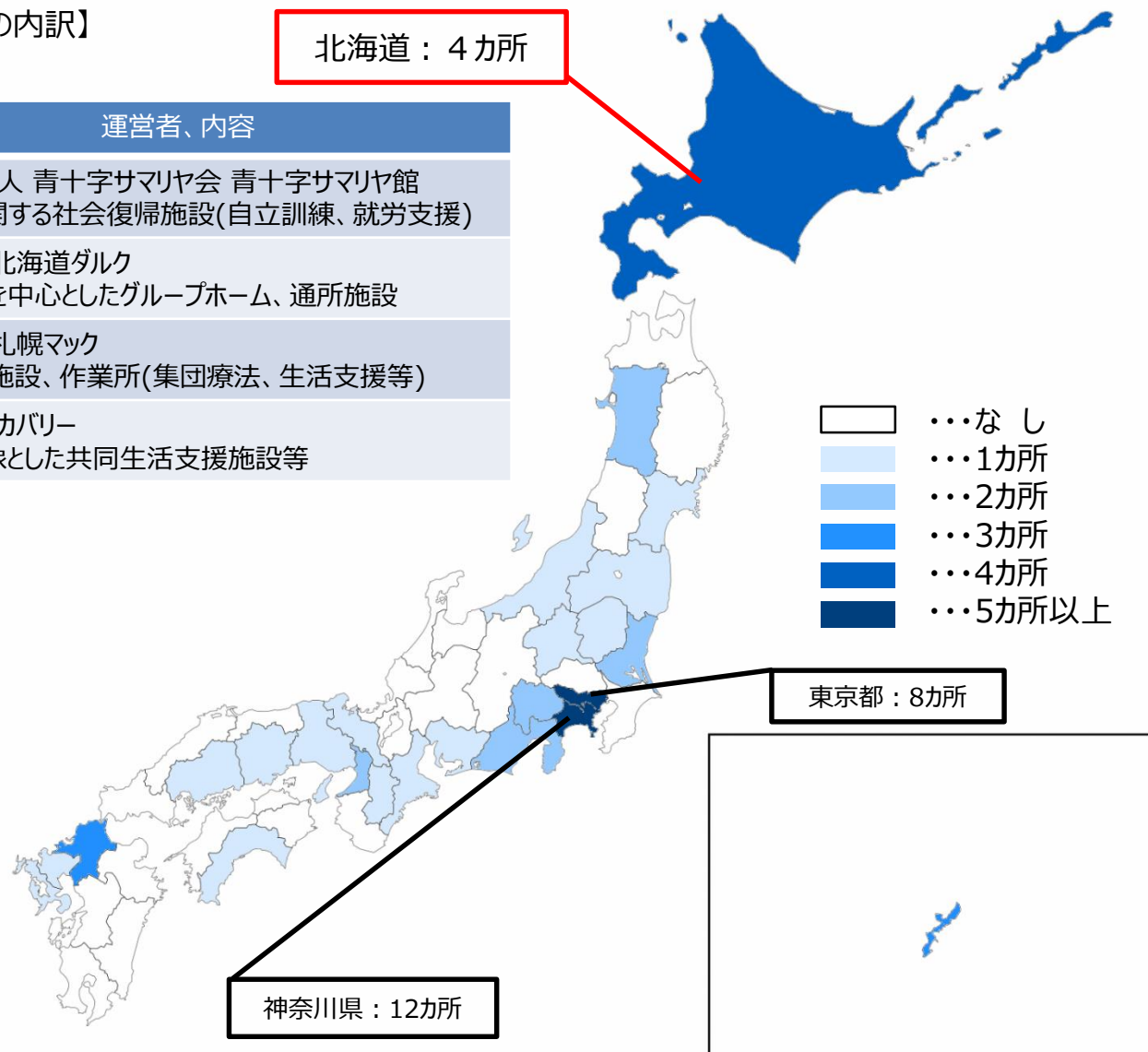


厚生労働科学研究「アルコール依存症に対する総合的な医療の提供に関する研究」
 (研究代表者：久里浜医療センター 樋口 進) 調べ より道作成

◆ ギャンブル等依存症に対応できる回復施設（H29.8時点）

【参考：北海道 4ヶ所の内訳】

所在地	運営者、内容
札幌市	社会福祉法人 青十字サマリヤ会 青十字サマリヤ館 依存症に関する社会復帰施設(自立訓練、就労支援)
札幌市	NPO法人 北海道ダルク 薬物依存を中心としたグループホーム、通所施設
札幌市	NOP法人 札幌マック 社会復帰施設、作業所(集団療法、生活支援等)
札幌市	NPO法人 リカバリー 女性を対象とした共同生活支援施設等



◆ 自助グループ等活動状況

■ ギャマノン【家族のグループ】

ギャンブル等依存症の問題の影響を受けた家族等のための自助グループ

札幌(3) 旭川(1) 帯広(1)
釧路(1) 滝川(1) 計7会場

● GA (ギャンブラーズ・アノニマス)【本人のグループ】

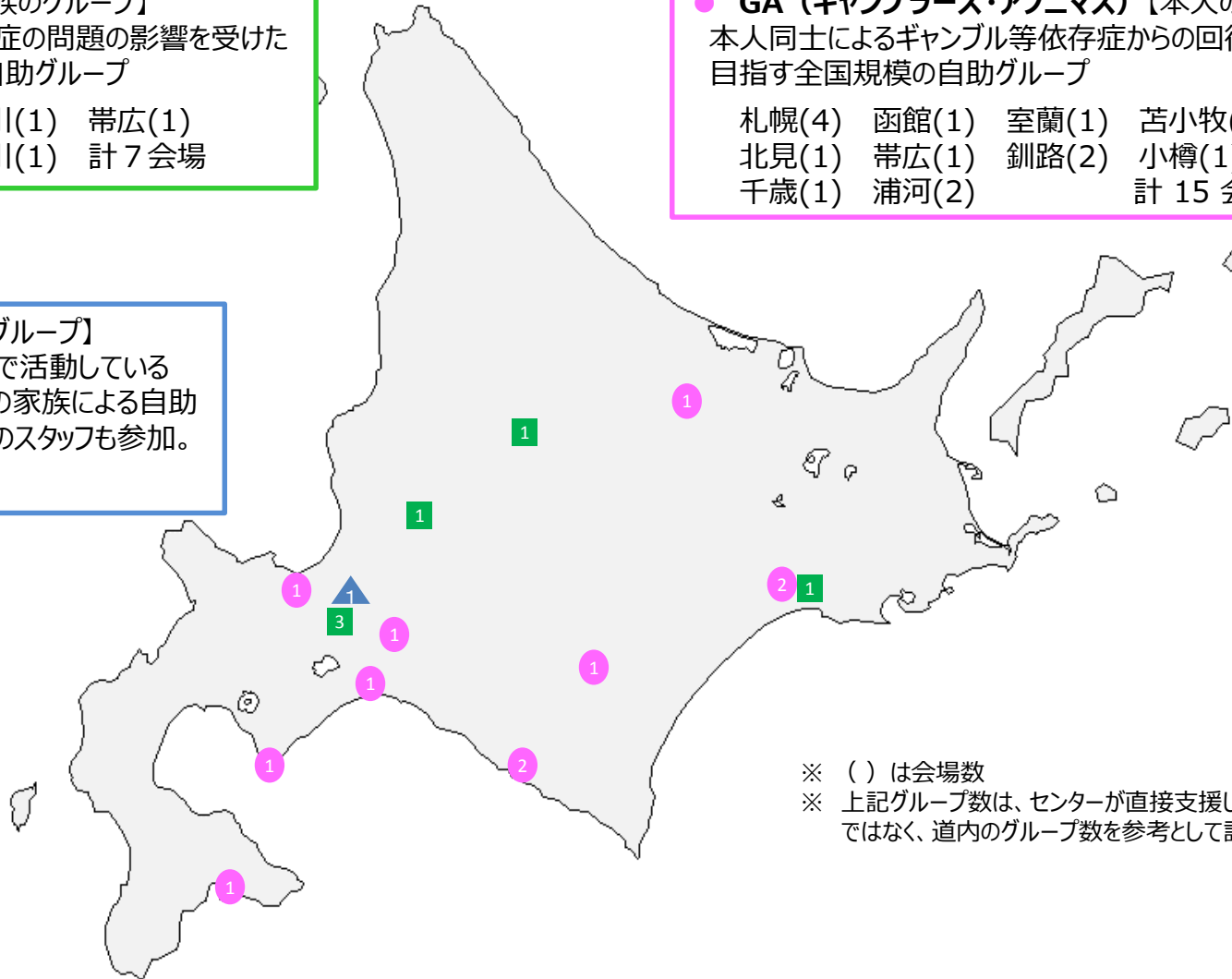
本人同士によるギャンブル等依存症からの回復を目指す全国規模の自助グループ

札幌(4) 函館(1) 室蘭(1) 苫小牧(1)
北見(1) 帯広(1) 釧路(2) 小樽(1)
千歳(1) 浦河(2) 計15会場

▲ カトレア会【家族のグループ】

ギャマノンと同様に札幌で活動しているギャンブル等依存症者の家族による自助グループ。精保センターのスタッフも参加。

札幌 1会場



※ () は会場数

※ 上記グループ数は、センターが直接支援したグループ数ではなく、道内のグループ数を参考として記載

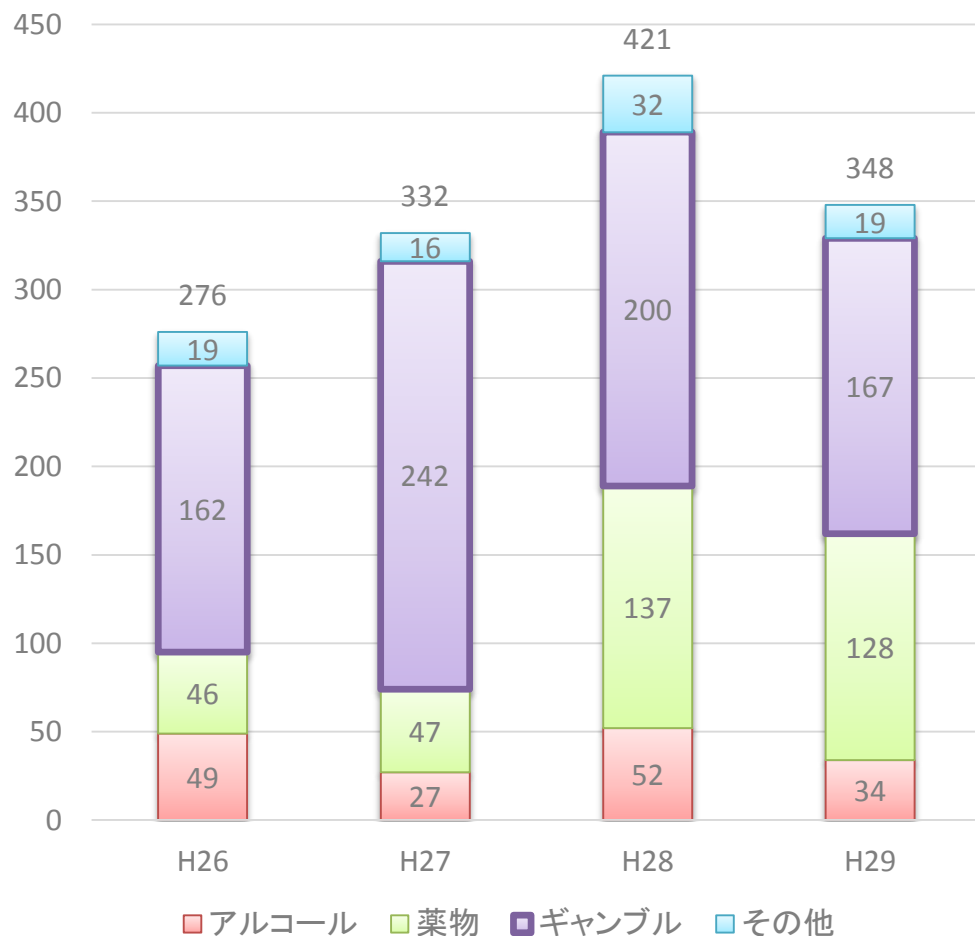
2 道の取組状況 ① 依存症に関する相談件数

1 道立精神保健福祉センターにおける支援

(1) 相談支援（道内1カ所[札幌市]）

保健師を家族支援員として位置付け、相談支援を実施

相談件数の推移（精神保健福祉センター）



(2) その他の支援状況

- ギャンブル研究会(認知行動療法を用いた治療・回復プログラム)の開催

毎月 第2,4火曜日18:30~20:00
参加実績 H29 実人員 41人
延人数 253人

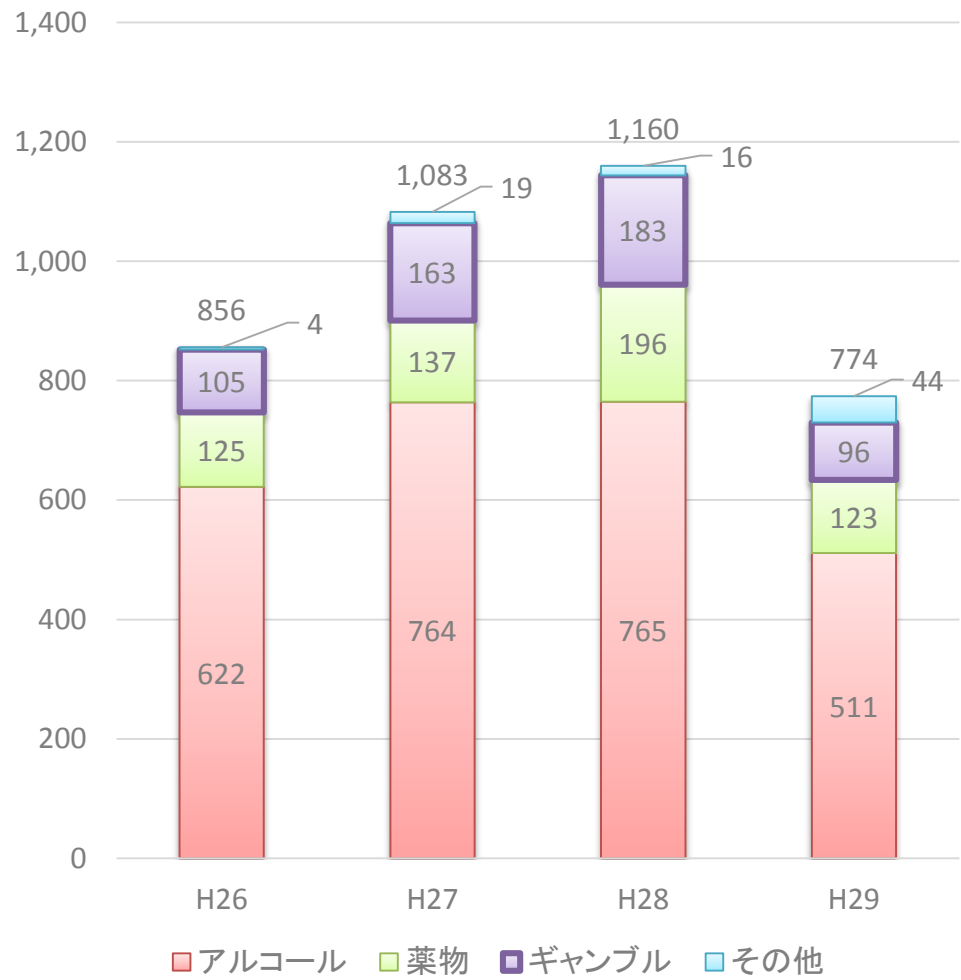
- 自助グループ等への組織育成支援
- 依存症回復施設との連携・支援
- 保健所、市町村、医療機関等に対する技術支援、人材育成及び普及啓発

2 保健所における支援

(1) 相談支援（道内26カ所）

精神保健福祉業務に従事する保健師を家族支援員として位置づけ、相談支援を実施

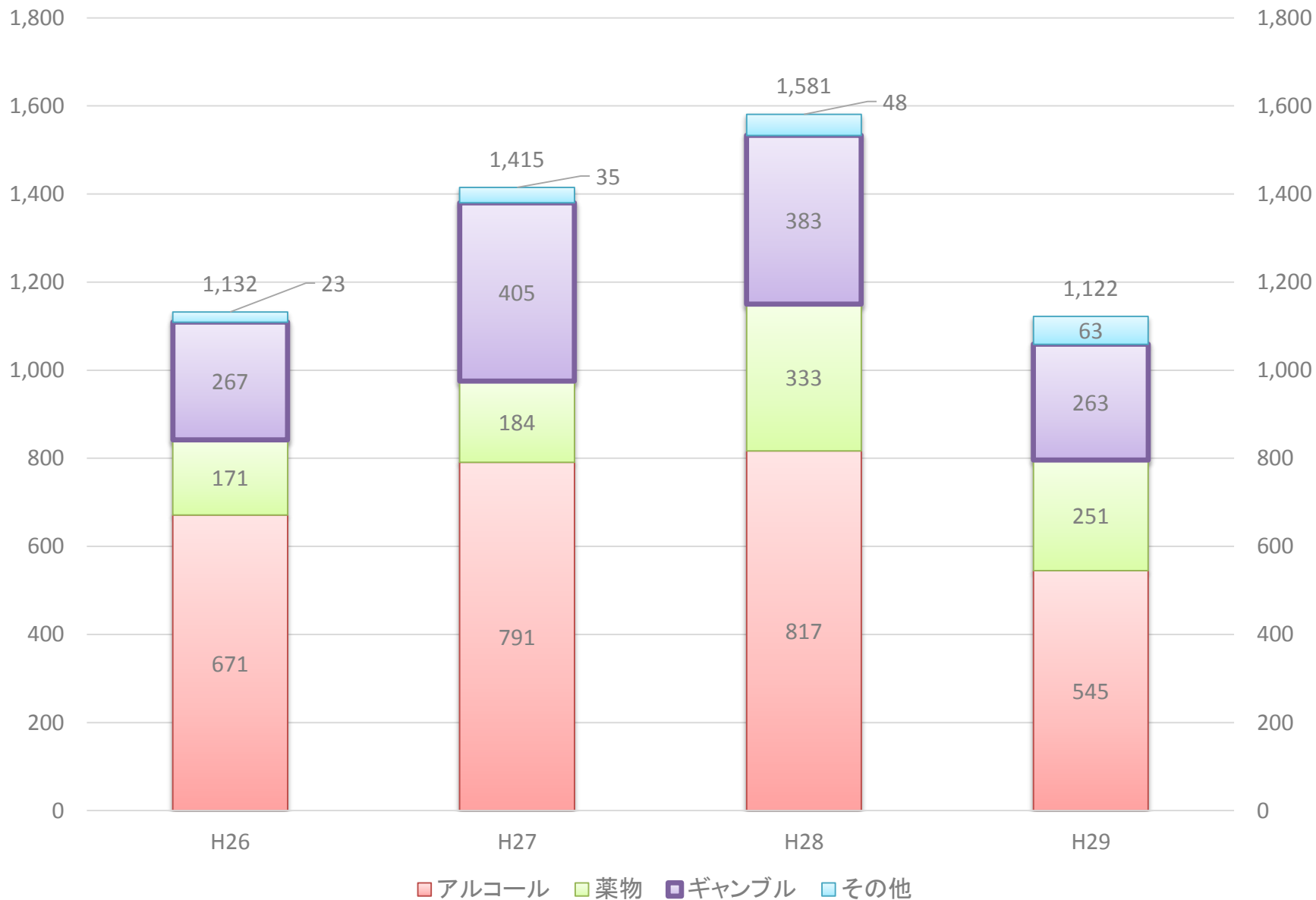
相談件数の推移（保健所）



(2) その他の支援状況

- 市町村、関係機関など支援者に対する助言等の支援
- 当事者、家族への支援（自助グループ含む。）
- ホームページ等による普及啓発
依存症に関する正しい知識や、相談窓口、自助グループなどの情報発信
- 地域の関係機関とのネットワーク構築
医療機関、回復施設、保護観察所、福祉機関、自助グループ、家族会等による連携会議開催

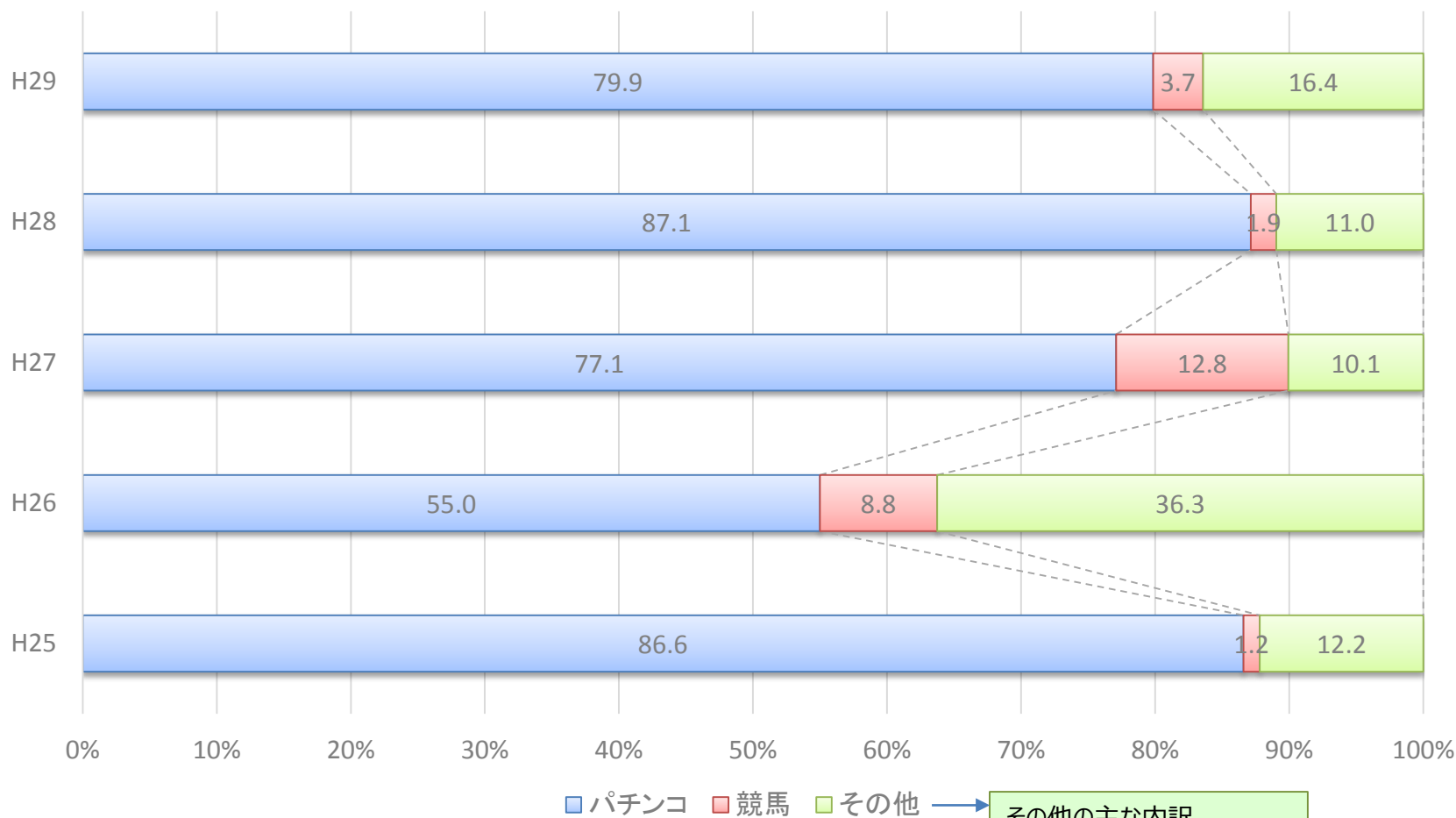
3 相談支援件数の推移（道立精神保健福祉センター＋道立保健所）



2 道の取組状況 ② ギャンブル等依存症に関する相談状況

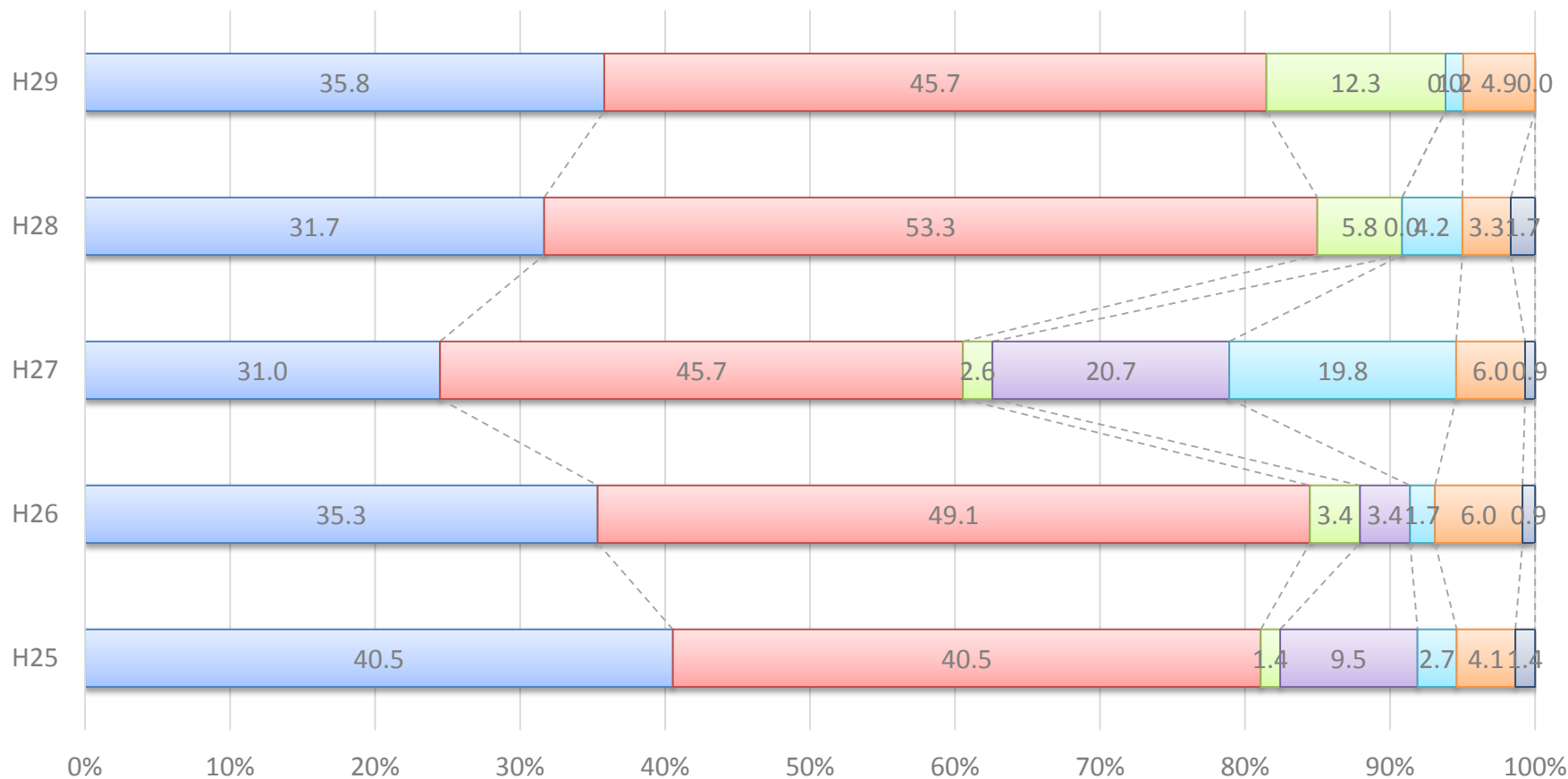
1 ギャンブル等種類別の内訳の推移

ギャンブル等種類別の相談件数の割合(延べ数、%)



2 ギャンブル等依存症相談者の内訳の推移

相談者別実人数の割合(%)

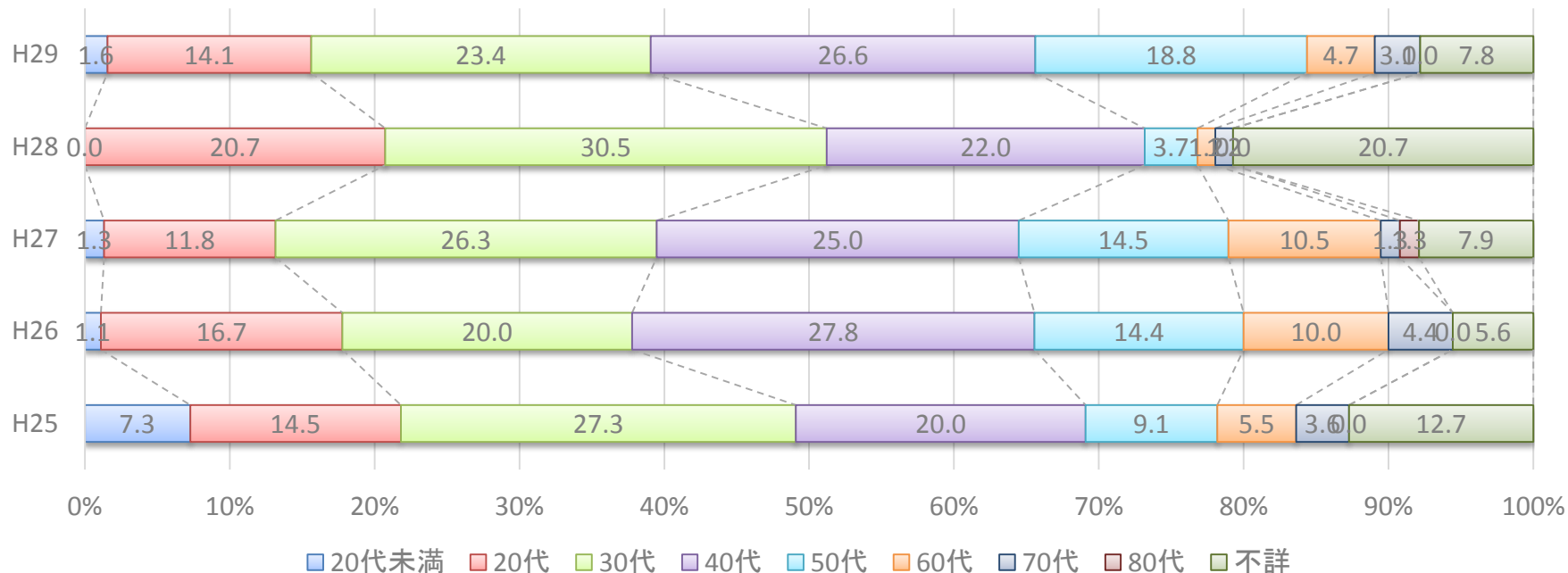


■ 本人
■ 家族
■ 市町村職員
■ 医療機関関係者
■ 相談支援機関
■ その他

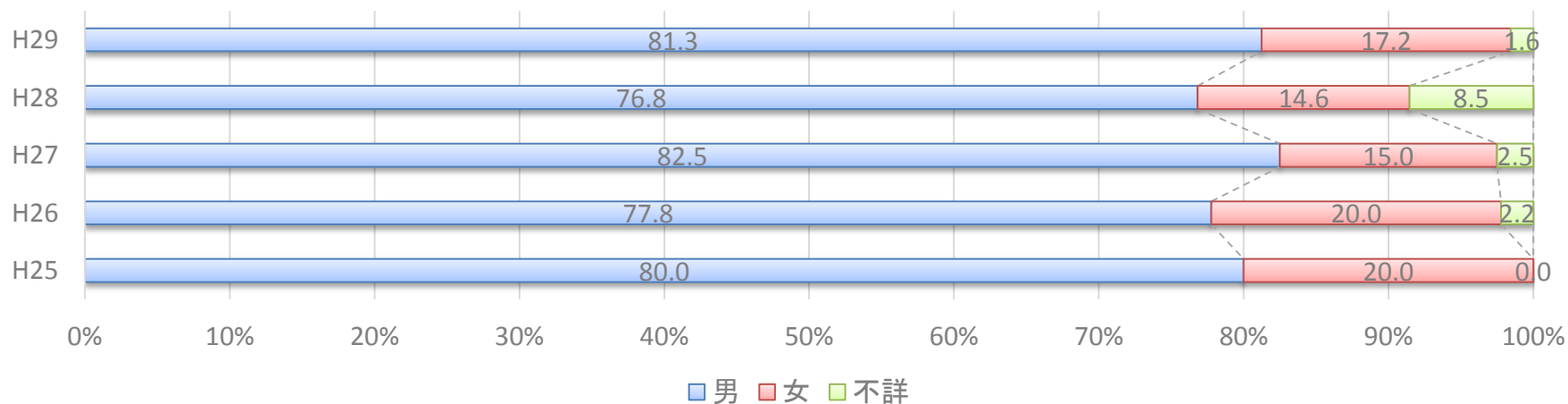
その他の主な内訳
 H25 ケースワーカー
 H26 遊戯事業組合職員、交際相手、弁護士
 H27 弁護士
 H28 警察官、保護観察官、友人
 H29 保護司、警察官

3 当事者の年齢・男女別比の内訳の推移

当事者の年齢別人数の割合の推移(%)

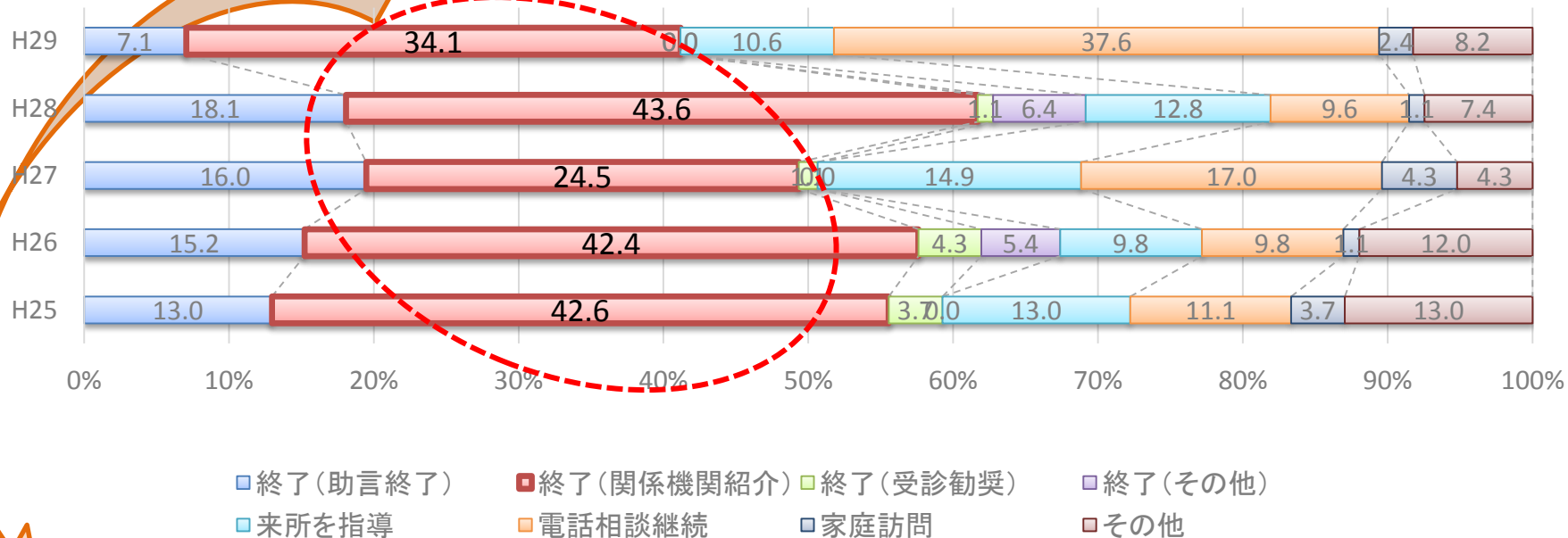


当事者の男女比の推移(%)



4 初回相談後の転帰

初回相談の転帰の推移(%)



紹介した関係機関の内訳(%)

